

# ぴっぷ議会だより

4月1日 うれしば保育園入園・進級お祝い会

うれしば保育園ぴっぷが「Village by VOREAS pippu base」(旧中学校)内へ移設され、新たな園舎で入園・進級お祝い会が行われました。



**新園舎にドキドキ  
おめかしして登園**

- 2 審議結果「第1回定例会」ほか
- 4 一般質問 / 植西 浩一 議員 個性を尊重する教育づくりについて
- 5 一般質問 / 遠藤ハル子議員 保育所の配置基準の改善を求める  
要保護及び準要保護児童生徒就学援助費にオンライン学習通信費の追加を
- 6 一般質問 / 澁谷 興二 議員 役場庁舎改築と複合施設建設との関連について
- 7 令和5年度条例・各会計予算審議
- 14 議会改革特別委員会報告・中央学校6年生 子ども議会



## 令和5年度各会計予算など議案30件を審議

3月6日～9日

# 第1回定例会

3月6日から9日に開かれた令和5年第1回定例会では、町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。議案30件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～6ページに掲載しています。

### 条例

◆比布町個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定

これまで各地方公共団体が条例で定めていた個人情報保護制度が令和5年4月1日から全国的な共通ルールが適用されることになったため、法で委任された事項及び条例で定めることが認められた事項を規定した「比布町個人情報保護に関する法律施行条例」を制定するものです。【原案可決】

◆比布町個人情報保護審査会条例の制定

改正個人情報保護法施行に伴い、町と町議会等の諮問に対応するための共通した比布町個人情報保護審査会の設置及び組織並びに調査審議等の手続等について定めるものです。【原案可決】

◆比布町情報公開条例の一部を改正する条例  
改正個人情報保護法施行に伴う

条例改正です。

【原案可決】

◆比布町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例  
改正個人情報保護法施行に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
度重なる児童の送迎時の置き去り死亡事案等の発生を受け、小規模保育所等において「安全計画の策定」の義務付け等を規定する上位法の改正による条例改正です。

【原案可決】

◆比布町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

こども家庭庁措置法の施行及び民法、児童福祉法の改正に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町地域ふれあい館設置及び管理条例を廃止する条例  
同施設を他の事業を行う施設に転換し有効利用するため、本条例を廃止するものです。

【原案可決】

◆比布町介護予防拠点施設条例の制定  
現在サロン活動を行っている「つどいの三平」を介護予防の拠点施設として使用するため設置条例を制定するものです。

【原案可決】

◆比布町役場課設置条例の一部を改正する条例  
役場機構改革により「産業振興

課」を「農林課」と「商工観光課」に分割するものです。  
【原案可決】

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
町長、副町長、教育長の給与月額を改めるものです。  
【原案可決】

◆比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
国民健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の額を50万円に改めるものです。  
【原案可決】

◆「グリーンパークびっぶ」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
本年6月よりキャンプ場使用料を改めるものです。  
【原案可決】

◆比布町交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びっぶ」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
本年6月より入浴料を改めるものです。  
【原案可決】

◆比布町体育館等条例の一部を改正する条例  
びっぶ球場の夜間照明について、

カード方式をやめ、1時間単位で使用料を徴収するため条例を改正するものです。  
【原案可決】

### 補正予算

- ◆一般会計(第10号)
  - ◆一般会計(第11号)
  - ◆国民健康保険特別会計(第2号)
  - ◆後期高齢者医療特別会計(第1号)
  - ◆介護保険特別会計(第3号)
  - ◆観光事業特別会計(第2号)
  - ◆簡易水道事業特別会計(第2号)
  - ◆公共下水道事業特別会計(第3号)
- 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。  
【原案可決】

令和4年度各会計補正予算(第1回定例会)	
一般会計(第10号)	4,896万2千円の減(総額40億889万2千円) ■橋梁維持管理事業の減ほか年度末精査による増減
一般会計(第11号)	67万9千円の増(総額40億957万1千円) ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付による財源変更など
国民健康保険特別会計(第2号)	762万円の減(総額5億4,803万6千円) ■一般被保険者国民健康保険税の減ほか
後期高齢者医療特別会計(第1号)	170万円の増(総額7,197万7千円) ■後期高齢者医療保険料(普通徴収)の増
介護保険特別会計(第3号)	1,457万4千円の増(総額6億1,302万2千円) ■介護サービス給付費の増ほか
観光事業特別会計(第2号)	548万4千円の減(総額1億7,104万5千円) ■リフト使用料の減ほか
簡易水道事業特別会計(第2号)	902万円の減(総額1億6,465万3千円) ■簡易水道等施設整備事業の減ほか
公共下水道事業特別会計(第3号)	710万1千円の減(総額5,017万6千円) ■下水道施設整備事業の減ほか

### 発議

◆比布町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について  
新たな個人情報保護法では地方議会は適用除外となるため、議会独自の個人情報保護条例を制定し、適切な対応を図ります。  
【原案可決】

◆比布町議会委員会条例の一部を改正する条例  
課の名称変更に伴う改正です。  
【原案可決】

### 意見書を提出

第1回定例会において、次のとおり意見書を採択し、関係機関に提出しました。

◆旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書  
【提出先】内閣総理大臣、国土交通大臣



## 個性を尊重する教育づくりを

北川教育長

### 子どもたちが生きる力を身につけ 自立できる教育に尽力したい



植西 浩一 議員

□質問・植西議員

優秀な生徒を育てるより、落ちこぼれをなくし、すべての子どもたちに希望を与えることを真に教育の目標とすべきではありませんか。

■答弁・北川教育長

子どもたちが自らの生き方を考え、夢や希望を実現させる意欲や社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を体験や経験、多様な人との関わりを通して育むとともに、子どもたちが社会の一員で主権者であるという自覚ができるよう、発達段階に応じた一貫性のあるキャリア教育が求められています。

これまで当たり前だった日常生活が大きく変わり、予測困難な時代が到来する中、誰一人取り残さない、多様な学びと安心な居場所を築くとともに、子どもたち一人ひとりが新たな夢や希望を描き、追い続けることが一層重要です。

本町の子どもたちが「生きる力」を身につけ、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面すると予想される様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができます。教育に全力を尽くしていきます。

□植西議員 子どもたちがその社

会の役割を見つけ出す一つの方法として、キャリア教育が非常に重要だと考えます。

教育長の教育行政執行方針の中にも書かれているキャリア教育を今後、どのように進めていくのかお聞かせください。

■北川教育長 十数年前から学校では意識的に子どもたちに体験をさせる場を組み入れてきました。その体験による様々な方々とのふれあいを通じて自我が芽生え、自分の役割、自己肯定感や人間関係も培われてきたと思います。

町でも比布町学校づくり指針の中でキャリア教育を位置づけ、学校と連携をしながら、地域、家庭、そして行政も関わって体験の場を多く取り入れていく考えであり、その中で子どもたちが様々な体験ができる機会の提供を進めていきます。

□植西議員 発達段階に応じた一貫性のあるキャリア教育という考え方は、個性という一人ひとりの育ち方や発達していく状態に応じて義務教育9年間を一貫して寄り添っていくという意味でしょうか。

■北川教育長 1年生から9年生までのそれぞれ発達段階に応じた

キャリア教育を取り入れていくという考えです。

□植西議員 キャリア教育で子どもたちが自分の性質を見極め、自分の居場所や社会での役割をもつと把握できるのではないかと考えています。キャリア教育のあり方をどのように考えていますか。

■北川教育長 子どもたちは一人ひとり、それぞれ持って生まれた良さがあります。その良さを引き出し、のばすことが学校教育だと思っています。学校では子どもたちの、のびしろというものを大事にし、そして、いろいろなことを経験させてあげたいと考えています。

しかし、それを学校の中だけで行うには限界がありますので、そこで補っていくのが地域であると思います。地域の中で子どもたちに様々な経験、体験をさせてあげることが将来、自分がどういう道に進みたいかということにつながっていくと考えています。



子ども体験教室  
「比布アドベンチャーズ」



## 保育士の配置基準の改善を

村中町長

### 今後も安心安全な保育に向け 必要な人員配置に対し支援する



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

子どもたちの命や安全を守ることにや発達を保障するためにも、保育士の配置基準の改善は緊急の課題です。その背景には、長年変わらない保育士の配置基準があるのではありませんか。

日本では児童福祉施設の最低基準が75年前の1948年につくられ、「最低基準を常に向上させるように努めるものとする」としてきたものの、現在3〜5歳児に対する配置基準は、経済協力開発機構(OECD)調査国・地域で最下位です。

国に先立ち現場からの声を聞き、比布町でも緊急に町として保育士増のために今の配置基準を見直す考えはありますか。

■答弁・村中町長

配置基準は、これまでも「中央児童福祉審議会」の意見具申などを受け見直しが行われており、平成27年には、地域の子育て支援の拡充や保育の質の向上、待機児童解消を目的に導入された「子ども・

子育て支援新制度」により小規模保育事業など地域の実情に応じた支援が図られるようになりましたが、配置基準自体は、0歳児3名に対し保育士1名、1・2歳児では6名に対し1名、3歳児では20名、

4歳以上児は30名にそれぞれ1名と定められています。この基準は平成10年以降変わっており、国基準では必要な保育を行うための人員が不足であり、子どもの安全を守れないとの声が保育現場から上がっています。

国では、送迎バスに置き去りにされた園児が亡くなるという痛ましい事案など、昨今繰り返される保育所での事件や事故を受け、令和5年4月から保育所に対し、園内外の施設・設備の安全点検、職員等への安全指導の取組みなど園児の安全確保に関する計画策定を義務化しますが、その要因の一つには、現場における保育士不足もあると考えられます。

くるみ保育園には、現在、特別な支援を要する園児も複数名在籍しており、保育士一人ひとりの役割がこれまで以上に複雑かつ大きくなっています。町では、特別な支援が必要な園児の保育に対し、国基準を上回る保育士を配置した際に生じる経費の不足分をこれまでも全額助成しています。

町独自の配置基準を設ける予定はありませんが、今後も保育園と協議の上、安全・安心な保育に向けた必要な人員配置に対し、継続した支援を行っていきます。

## 就学援助費にオンライン学習通信費の追加を

□遠藤議員 学校教育法は「経済的理由によって、就学困難と認められる学童または学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」と規定されています。

コロナ禍で教室での授業が困難になる場合や、今後も家庭学習などでタブレットの活用も増えると考えられます。通信環境が整わない家庭には教育委員会で通信費を負担していると聞きましたが、令和2年から就学援助費に、オンライン学習通信費を年間上限額小中学生1世帯当たり1万4千円を支給している自治体があります。比布町でも積極的に支給拡大をする考えはありますか。

■北川教育長 当面は現在の基準で運用し、オンライン学習や休業期間中の活用機会が増えることにより通信費の家庭負担が増えることがあれば支給拡大を検討していきますので、ご理解をお願いいたします。また、今後も保護者の経済状況や健康上の問題など様々な理由によって子どもたちの学習環境が脅かされる場合における就学援助制度の周知を図っていきます。



澁谷 興二 議員

## 役場庁舎改築の今後の計画は

村中町長

### 令和7年度までに実施設計の着手をベースに進めていきたい

□質問・澁谷議員

現庁舎は築63年を超え老朽化が進んでいますが、今後の役場新庁舎建設について伺います。

①今年1月17日に発生した地震での被害と対応は。

②現庁舎の延命化の考えは。

③人口減が進む中、防災拠点 消防を含めた総合庁舎の考えは。

④第13次まちづくり計画策定の中で庁舎改築に向けたスケジュールは。

⑤第2期比布町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性は。

⑥建設場所を含め、どのような想定で複合施設として集約するのか。

■答弁・村中町長

役場庁舎は随時修繕を行っていますが、根本的な改修が必要な部分もあります。しかし、中学校建設などの大型事業が続いたことにより、その償還金の推移や将来負担などを考慮し、建設は先送りされてきました。庁舎以外の公共施設も老朽化による改修が必要となつていきますので、策定した基本構想や公共施設個別施設計画などの各計画を軸に、庁舎の建設を進めなければならぬ時期であると認識しています。

①本町では震度3が記録されました。町体育館アリーナの天井板のうち1枚が枠から外れたため、落下する恐れがある範囲を使用禁止

し、修繕しました。なお、体育館以外に被害の報告はありません。

②平成22年度に耐震基準を大きく下回る結果が示された際に試算された耐震改修工事費は約9億円でした。また、改修工事によって利用可能な床面積が縮小される可能性もあることから、延命化ではなく、改築する方向が適切であると

考えています。

③消防庁舎のほか、福祉会館をはじめとする他の公共施設も集約することにより、多機能で効率的な利用が可能になると考えています。

また、防災拠点としての機能と緊急避難場所としての機能を併せ持った災害に強い総合的な庁舎が望ましいと考えています。

④令和7年度まで実施設計に着手した場合は、有利な財源が確保でき

る見込みとなつていくことから、この時期をベースに計画することが望ましいと考えています。

⑤令和6年度までとなる現在の総合戦略には、「役場庁舎改築の検討」と掲載しており、町民の皆様の見を聞く中で方向性を示すこととして

しています。

⑥町民の利便性や施設の維持管理費などを考慮すると、消防署に加え、福祉会館や保健センター機能も集約した複合施設が望ましいと

考えています。

また、建設場所は新たな用地を購入すると財政負担も大きくなることから、既存の図書館も有効活用できる場所に建設することが望ましいのではと考えています。

□澁谷議員 有利な財源確保とはどのような財源か。

■村中町長 事務室部分には有利な財源はありませんが、防災機能と位置づけられる部分は、起債額の70%が交付税措置される緊急防災減災対策債があります。庁舎等整備基金へ積み増しに加え、脱炭素化やDX関連、IT化など様々な補助金を活用したいと思っています。

□澁谷議員 新庁舎の建設費用と現庁舎取り壊しの金額の想定は。

■村中町長 工費は年々上がつていく状況ですので、建築時の費用を試算するのは難しいことですが、町の財政も考慮しながら計画していくことが必要だと思います。

□澁谷議員 人口減少や機能面をどう考慮するのか。

■村中町長 庁舎改築検討委員会の設置、また福祉会館を使用する各団体など多くの町民の意見を聞きながら作りたいと思っています。また、会議室の共用など合理的でコンパクトにできるようにも考えていかなければいけないと思つています。

# 令和5年度条例・各会計予算審議

令和5年度各会計予算は、議長を除く議員7人で構成する予算特別委員会（委員長・今井明信副議長）を設置し、3月7、8日に審議を行いました。委員会では各委員から事業に対する質疑や意見などが出され、活発な議論が展開されました。

定例会最終日の3月9日に今井委員長から委員会における審査結果の報告があり、原案のとおり可決しました。

## ■令和5年度会計別予算■

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	42億7,200万円	37億5,400万円	13.8%
国民健康保険特別会計	5億2,561万円	5億4,801万円	▲4.1%
後期高齢者医療特別会計	7,391万円	7,028万円	5.2%
介護保険特別会計	5億9,420万円	5億7,866万円	2.7%
観光事業特別会計	1億8,006万円	1億7,347万円	3.8%
簡易水道事業特別会計	1億9,212万円	1億7,336万円	10.8%
公共下水道事業特別会計	5,651万円	5,590万円	1.1%
合計	58億9,441万円	53億5,368万円	10.1%

### ▽条例制定・改正・廃止

#### ■介護予防拠点施設条例の制定

〔遠藤委員〕 つどいの三平は個人で借りることは可能か。

〔保健福祉課長〕 介護予防を目的とした利用であれば、ある程度柔軟に対応したいと思います。

#### ■「グリーンパークびっぶ」の設置及び管理に関する条例の一部改正

〔植西委員〕 キャンプ場使用料の改定が小幅な改正と感じる。民間事業者にも関わってもらい利便性を高め、最大限の料金設定を目指してはどうか。

〔産業振興課長〕 特に新たな施設整備がない中で、の料金改定であり、近隣のキャンプ場の使用料を調査して設定しました。ソフト面のサービス充実にも努めたいと思います。

#### ■交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びっぶ」の設置及び管理に関する条例の一部改正

〔安藤委員〕 入浴料の改定について、近隣市町村は700円のところもある。本施設も700円にしてはどうか。また、休憩室にひざ掛けを置くなどのサービスも考えては。

〔産業振興課長〕 1年以上前から調査を行った結果、700円に値上

げた施設から本施設に利用が流れたことが確認でき、600円の結論に至りました。サービス向上については色々なご意見を参考としていきます。

#### ■特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

〔澁谷委員〕 今回の改正は報酬審議会の答申によるものなのか、管内の状況などを勘案したものなのか。

〔総務企画課長〕 理事者に関しては平成16年に大幅減額となって以降、報酬額が戻っていないことも踏まえた報酬審議会の答申に基づき改正するものです。

### ▽町税

〔遠藤委員〕 法人税を納付する中小企業は全国的に全体の25〜30%と言われているが、本町の割合は。

〔税務住民課長〕 事業所数では30%以上あります。予算は前年の決算見込の90%で計上しています。

### ▽使用料及び手数料

〔植西委員〕 グリーンパークの使用料増収のために、集客の多い時期に移動販売車に来てもらうなど、

付加価値を上げる取り組みをしてはどうか。

【産業振興課長】 民間事業者と連携した取り組みは必要と感じており、計画していきたいと思います。

## ▽財産収入

【滋谷委員】 町有住宅貸付収入が100万円程減額になっている理由は。

【建設課長】 教員が住むための住宅の収入で、予算編成段階で2戸に空きがあったため減額しました。

## ▽寄附金

【植西委員】 ふるさと納税は今後従来通りでは増収が難しくなるため、開発技術や開発力をもった方を町内に呼び込み、増収を図ってはどうか。

【総務企画課長】 外部への開発委託までの検討はしていません。寄付額との兼ね合いもありますが研究します。

【村中町長】 機構改革により特産品開発と同様の部署でふるさと納税に取り組むこととし、体制を強化します。

## ▽総務費関係

【遠藤委員】 自治活動事業で農家地区の会館の解体費用50万円が予算化されたが、トイレ等の改修要望の声が聞かれるため、修繕費用にも使えるような予算にはどうか。

【総務企画課長】 本予算は行政区からの相談を受け、解体費用の補助として措置しましたので、修繕費用は含んでいません。

【村中町長】 修繕等については自治活動交付金元気づくり事業分が活用できます。地域コミュニティを維持してほしいと考えています。

【大熊委員】 庁舎管理事業について、修繕が必要な施設が多数あるため、専門部署により一括管理することで効率化や経費節減につながるのでは。

【総務企画課長】 協議の結果、専門部署の設置は難しいとの結論に至りました。各施設の個別修繕計画に基づき修繕を実施していきます。

【安藤委員】 コンピュータ関係に長けた会計年度任用職員を採用する考えは。

【総務企画課長】 表計算等ができる職員は増えていますが、町の情報

管理業務まで担うことは難しいと考えます。

【植西委員】 湖南市交流事業が減額になっているが、これからは交流に留まらず、お互いの収入増などを目的とした事業を展開してはどうか。

【総務企画課長】 現在は交流予算ということで、今後は開拓130年に向けた協議などもしていきたいと思えます。

【村中町長】 これまでも双方のお祭り等で特産品を販売するなどの産業交流も行っています。

【安藤委員】 ピピカツ事業で4年度は「ビジョントレーニングマシン」を購入したが、今年度はさらに充実させる内容となっているか。

【総務企画課長】 多額な物品の購入予定はありませんが、今年度は機構改革によって推進体制の強化を図ります。

【滋谷委員】 防災無線事業について、今回の改修は全町の戸別受信機も関係するものなのか、本体のみの改修か。

【総務企画課長】 平成24年のデジタル化以降10年が経過し、本体を更新するものです。SNSに連動するシステムも併せて導入します。

【大熊委員】 (株)VOREASの事業について、うれしば保育園が移転した以降の事業実施は聞いているか。人的支援などもっと計画に関わるべきでは。

【総務企画課長】 計画の中ですぐ実施する予定の事業は何っていません。

【村中町長】 計画自体が変わったとは聞いていません。スポンサーとなる会社に私も訪問するなど計画が少しでも進むように努力します。

【植西委員】 防災計画の更新の際は、ドローンの活用や排水路等の水量を管理するシステムの導入などを計画に搭載すべきではないか。また、愛別ダムは貯水を事前放流する機能を有しているか。

【総務企画課参事】 現在、改定に向けて進めています。ドローンの活用については民間事業者との協定という方法が妥当と考えており、水量監視については研究が必要です。愛別ダムの関係は確認します。

【谷口委員】 移住・定住対策の若者・子育て世帯への家賃補助は所得制限をするのか。

【総務企画課長】 対象外となる職種などの制限はありますが、所得制限は設けません。

## ▽民生費関係

【**樋西委員**】緊急通報システムの更新について、スマートフォンやスマートウォッチの活用も考えたほうがいいと思うが検討状況は。

【**保健福祉課長**】現行システムの光回線の更新は予定していないことを事業者から確認しました。今後はスマートフォンを活用も視野に入れ、見守り支援を含めた対応を検討中です。5年度に現在設置している方へのニーズ調査を実施予定です。

【**谷口委員**】外国人介護福祉人材育成事業について、異国からの就労であるので、複数名採用することが望ましいと思うが何名採用予定で、どこに就労するのか。

【**保健福祉課長**】本予算は1名分で令和6年からあそか苑に就労予定



ふるさと応援フェスタ inチカホ



中央ふれあい広場

です。あそか苑にとっても初めてのことで、法人と連携して次回以降の採用を検討します。

【**谷口委員**】災害救助費の関係で、町内の重機運転免許等の有資格者を任意の登録制として災害の際に協力を得るような制度を設けてはどうか。

【**総務企画課参事**】建設業協会との協定を検討していましたが、委員の意見も含め検討します。

【**樋西委員**】認定こども園の建設について、説明会も行われたが、騒音等、実際に開園してからの問題に対しては担当課としてどのように協力するつもりなのか。

【**保健福祉課長**】設計段階での建設位置などの対策に加えて、公園整備も同時に行うため、双方が良いものとなるよう調整していきたいと思えます。



ピピカツリハビリ体操指導士養成講習会

## ▽衛生費関係

【**安藤委員**】ふれあい広場の遊具整備については、既製品遊具の設置ではなく、子どもたちが五感を感じ、夢中になって遊べるような自然豊かな公園整備を望むが考えは。

【**保健福祉課長**】未来会議など様々な場で聞き取りを行い、遊具を備えた公園を望む声が多かったことから、ふれあい広場については、町内で一番遊具のある公園としての整備を考えています。

【**村中町長**】既製品遊具を整備することになるかもしれませんが、子どもが健やかに育つ公園として整備したいと思えます。

【**遠藤委員**】愛別町の塵芥処理場で基準値以上の水銀が検出されたことについて、本町も有害物質の分別徹底をさらに行うべきではないか。

【**税務住民課長**】一昨年の焼却炉法定検査で水銀の残留が基準値を超えました。収集車500kg単位で検査を実施し、乾電池類が多いことがわかりました。町としては2月の広報紙折込チラシで周知をしました。現在の水銀値は落ち着いているとのこと。

【**安藤委員**】令和4年6月より、飼育する犬猫へのマイクロチップ装着が制度化された。予防注射の際に周知してはどうか。

【**税務住民課長**】動物愛護の観点もありませんので、問い合わせに關してしっかり対応していきたいと思えます。

【**遠藤委員**】診療所業務委託について、刑事事件以降、友崇会とはどのようなやり取りをしているのか。

【**保健福祉課長**】院長個人に対し、公職の辞退とクリニックの運営か



狂犬病予防注射

ら退いていただきたい旨の意向を伝えていきます。町民の不安を取り除くよう進めたいと思いますが、もう少しお時間をいただきたいと思えます。

## ▽農林業費関係

【植西委員】農業費は商工費に比べ国等の補助金が関連するものが多く、もっと町単独費を充当していくべきと考えるがいかがか。

【産業振興課長】農業は全国的な事業が多く、国、道、町が負担して実施する予算が多くありますが、町単独の事業も予算措置しています。この他、国から農業者へ直接支払われる交付金もあります。

【村中町長】農業や商工業については必要な予算を盛り込んでおり、農業費が少ないとは考えていません。

## ▽商工費関係

【谷口委員】新規創業の補助金が拡充されたが、時限的なものなのか。また、閉店した店舗兼住宅の活用についての考えは。

【産業振興課長】新規創業補助の拡充については、当面継続したいと思っています。店舗兼住宅については商工会と協議していきます。

## ▽土木費関係

【谷口委員】新町団地跡地はどのよう

に活用する考えか。

【建設課長】詳細は決まっています。住宅地として活用予定です。

【安藤委員】道路維持事業が昨年より多いが、融雪後の道路工事箇所が増えたのか。

【建設課長】工事箇所は少し減りましたが、道路法面の草刈機を購入するため予算が増額しています。

## ▽消防費関係

【安藤委員】消防団員の募集をしているが何人補充が必要なのか。また、訓練などの軽減でサラリーマン等も入団が可能になると思うが。

【消防署長】現状を考えると、特に東園地区、蘭留地区を増員したいところ。現場活動に必要な訓練もあります。実情に沿えるよう検討します。

【植西委員】消防団員が少ない状況で捜索活動となるとドローンなどの機器に頼る必要も出てくると思うが、導入の考えは。

【消防署長】現時点では検討していませんが、今後協議していきます。

## ▽教育費関係

【植西委員】南分館、東園地域センターが冬期間非常に寒いと言われているが、天井を下げたり、サーキュレーターを取り付けるなどの改修が必要ではないか。

【生涯学習課長】分館長・管理人、主事合同会議で聞き取りを行い、必要であれば検討します。

【大熊委員】部活動の地域移行についての現状とヴォレアス北海道との連携など今後の見通しは。

【生涯学習課長】まずは部活動指導員という形で配置し、次のステップを目指します。バレーボールはクラブチームの新たな指導者と交渉中です。

【村中町長】近隣の町長とは広域的に取り組み、多くの選択肢が可能となる部活動の展開について話し始めています。

【安藤委員】児童クラブが令和6年から学校に移転するが、福祉会館で行われている習いごとの関係もあるため、早期に保護者への説明会を開催すべきと思うが。

【生涯学習課長】公民館教室の先生方とも話をして、今年度中に保護者への説明会を開催します。

【谷口委員】総合教育推進事業で今後竹細工の加工体験など、竹細工の認知度向上の意味でも実施する考えは。

【生涯学習課長】キャリア教育の一環として実施できるか、学校と協議していきます。

## ▽後期高齢者医療特別会計

【遠藤委員】後期高齢者の健診受診率の分母が全国バラバラということが判明した。本町も長期入院者や施設入所者数を除いて受診率を報告すべきと考えるがいかがか。

【保健福祉課長】報告は補助金の算定基礎に使用されるため変更することはできません。少しでも受診率が向上されるよう、今後も健診業務を行っていきます。

## ▽観光事業特別会計

【谷口委員】リフト使用料を上げるために新たな大会等を誘致することは可能か。また、PRのための継続的な発信が集客増につながると思うが考えは。

【産業振興課長】これまでも誘致活動は積極的に行っていますが、今

後もスキー学校等と連携して行っています。SNS等を通じたPRは非常に重要だと思っています。

## ▽簡易水道事業 特別会計

【榎西委員】 水道管の交換時期が数年後に控えていると思うが、今後どのように更新を考えているのか。  
【建設課長】 5年程で耐用年数の40年を迎えますが、年次計画で更新する考えです。

## ▽総括質疑

【遠藤委員】 新規創業に対する補助金が増額となり、産業振興課が農林課と商工観光課に分かれることで、より積極的な対策が行われ、買い物環境が良くなることを楽しみにしているし、結果を出してほ

しい。また、ドラッグストアの誘致を断念した経過を改めてお聞きしたい。

【村中町長】 町民が生活していく上で必要なのは商工業であり、やはり生活必需品がそろったお店があれば暮らしやすい環境になると考えます。ドラッグストアについては、関係事業者と話したことはありますが、人口、交通量の多いところが適地とされ、最終的には選ばれなかったと思っています。誘致に関しては、今後も諦めずに取り組んでいきます。

【榎西委員】 行政の究極の目標は税収を増やし、安心して暮らせるまちづくりのためのセーフネットを整備していくことにある。めまぐるしく変化する時代の中では、決断の速さが後々のまちづくりに大きく影響するため、施策を可能な限り早く決定し実行することが必要と思うが考えは。

【村中町長】 財源を増やすことは大切なことであり、移住・定住政策などをしつかり進めた結果が税収の増加にもつながり、より良いまちづくりができるものと思っています。政策決定については、議会を含め、町民との合意形成を図った上で、時代に遅れないように一定程度のスピード感が必要と考えます。

【今井委員】 町内交通体系について、昨年の予算特別委員会でも4年度から順次取り組みを進めると述べているが、いつ、どのように進めるのか。時間が相当経過している中で、多くの方が利用できる交通体系を早期に示し、実行してほしい。  
【村中町長】 道北バスのスキー場線の路線変更については、まちづくり懇談会や町内会役員等への説明では大きな反対はありませんでしたが、道北バスの経営状況の悪化を懸念しており、直営の検討も始

めたため決断できていない状況です。びびたくについては町独自の事業ですので、時代に応じた変化をしていこうと考えています。課題は多いですが町民が住みよい、移動しやすい交通体系の確立に向けて引き続き努力します。

## みなさんも 議会を傍聴しませんか



次回の議会定例会は6月中旬に開会します。  
くわしい日程は、無線放送等でお知らせしますので、お気軽にお越しください。



びっぴ七夕天国



比布消防団夏期演習



町内交通体系



放課後児童クラブ・クリスマス会

# 委員会のactivities

## 活動

### 総務常任委員会

2月22・24日開催

#### 【税務住民課】

##### 《報告事項》

■町税等の収納状況（1月末）

■上川広域滞納整理機構の収納状況

##### 《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

◇令和5年度一般会計予算案

#### 【総務企画課】

##### 《報告事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和5年度地方財政対策

◇令和5年度各会計当初予算案

■新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金の状況

■委託型地域おこし協力隊員の採用

■第13次まちづくり計画策定スケジュール案

#### ■その他

◇特定空き家の経過

◇歩くふるさと納税「ふるる」

◇リッチェルシニアシャワーチェアの寄贈

◇130年記念事業

##### 《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

道北バスの支援、ヴィレッジ・

バイ・ヴォレアスの改修補助ほか

◇条例の制定と改正案

◇令和5年度予算概要

移住世帯民間賃貸住宅家賃補助、

防災行政無線操作卓設備工事ほか

#### 【保健福祉課】

##### 《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇比布町介護予防拠点施設条例の制定案

◇比布町家庭的保育事業等の設備

及び運営に関する基準を定める条

例の一部改正案

◇比布町特定教育・保育施設及び

特定地域型保育事業の運営に関す

る基準を定める条例の一部改正案

◇比布町国民健康保険条例の一部

改正案

◇令和4年度各会計補正予算案

◇令和5年度各会計予算案

##### 《その他》

■新型コロナウイルスワクチン接種状況



くるみ保育園新園舎建設 住民説明会

■くるみ保育園新園舎建設に係る協議の進捗状況

新園舎の建設について、令和7年4月開園、中央ふれあい広場建設のスケジュールが示されました。

■町立びっぴくクリニックにおいて発生した事件の経過報告

#### 【生涯学習課】

##### 《報告事項》

■学校教育事業

◇令和5年度児童生徒数と学級編制数（予定）

◇君の夢プロジェクト

◇剣道部 3月18日

指導者 山城宏惟氏（剣道範士）

指導者 林 満章氏（教士八段）

◇野球部 3月25日

指導者 松中信彦氏

（元福岡ソフトバンクホークス）

◇義務教育学校における進捗状況

前期課程6年生修了式及び後期

課程進級式のあり方

◇リーディングスキルテストの実施

◇練成会との包括連携

■社会教育・図書館事業

◇図書館クリスマスイベント（令和4年12月1～29日）

◇参加者数 子ども56名、大人17名

◇冬休みぶつくん寺子屋（令和4年12月26～27日）

◇参加者数 児童65名・協力ボランティア27名

◇令和5年比布町二十歳のつどい（1月8日）

◇参加者数 24名

◇公民館事業「フラワーアレンジメント教室」（1月29日）

◇参加者数 子ども14名、大人12名

◇公民館教室「木工クラフト教室」（2月11日）

◇参加者数 子ども30名、大人1名

◇子ども体験教室「比布アドベンチャーズ」（2月26日）

◇参加者数 5チーム

◇町民スキー・スノーボード教室（1月4～6日）

◇参加者数 小学生62名、中学生5名、大人5名

◇第57回びっぴくGS競技大会（2月4日）



町民スキー大会

- ◇参加者数 幼児4名、小学生42名、中学生6名、一般47名
- ◇町民スキー大会（3月19日）  
《競技種目》大回転、ペアスキー、チャレンジ継走
- ◇エリプスセス講演会（3月20日）  
認知症予防講演会・エリプスセス講習会
- 講師 小山啓太氏（群馬大学准教授）
- その他
- ◇松中信彦氏スペシャルシンポジウム（3月24日）
- ◇スノーキャツスル必富
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案
- ◇比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正案
- ◇比布町体育館等条例の一部改正案
- ◇令和4年度一般会計補正予算案
- ◇令和5年度一般会計予算案

**総務常任委員会**  
3月9日開催

- 【総務企画課】
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案

**産業建設常任委員会**  
2月28日開催

- 【農業委員会】
- 《報告事項》
- 農地法及び基盤強化法による農用地集積状況
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案
- ◇令和4年度一般会計補正予算案
- ◇令和5年度一般会計予算案
- 【産業振興課】
- ▽農林部門
- 《報告事項》
- 令和5年産米「生産の目安」
- ぴっぴいちご振興事業（4期目）の経過
- 水田活用の直接支払交付金（畑地化等）
- 地方創生臨時交付金事業
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案

- ◇令和4年度一般会計補正予算案
- ◇令和4年度補正担い手確保・経営強化支援事業
- ◇令和5年度一般会計予算案
- ▽商工・観光部門
- 《報告事項》
- 令和4年度各施設の利用状況
- 地方創生臨時交付金事業
- ◇商工業振興補助事業（通常型・コロナ型）
- ◇「支え合おう！ぴっぴの元気づくり商品券」給付事業
- 商品券利用率98・6%、食事券利用率95・4%（最終実績）
- ◇比布町生活応援商品券給付事業
- 利用率79・95%（2月17日現在）
- ◇観光施設を利用した経済活性化事業
- ◇ぴっぴの観光受入体制支援事業
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案

- 【建設課】
- 《報告事項》
- 建設工事の発注及び進捗状況
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案
- ◇令和4年度各会計補正予算案
- ◇令和5年度各会計予算案

**産業建設常任委員会**  
3月6日開催

- 《協議事項》
- 意見書の審査
- ◇旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書

**全員協議会**  
2月20日開催

- 《協議事項》
- 比布町議会の個人情報保護に関する条例案

**全員協議会**  
3月6日開催

- 《協議事項》
- 比布町議会委員会条例の一部改正案

# 議会改革特別委員会 報告

開かれた議会へ  
意見交換会「議会と話そう」の開催  
ペーパーレス化や  
インターネット公開を検討しました。



## 委員会設置の経過と 調査・研究事項

比布町議会では、令和2年3月12日に議会改革特別委員会を設置し、委員長に佐藤康則副議長、副委員長に今井明信議員を選出しました。

しかし、4年1月に中本諭議長が逝去され、佐藤委員長が議長に就任したことから、今井議員を委員長に、遠藤ハル子議員を副委員長に互選しました。

委員会は延べ16回開催され、より町民に理解される開かれた議会をつくるための調査・研究を行いました。

## 議会改革の具体的事項

### (1) ペーパーレス化

デジタル庁が発足し、社会全体のデジタル化が加速しています。

また、国連サミットで可決された「持続可能な開発目標 (SDGs)」において、ペーパーレス化は二酸化炭素排出量の削減などに貢献するものとされています。

本町でも地球温暖化対策として、4年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素に向けた取り組みを積極的に行うこととしており、ペーパーレス化はデジタル社会への対応や持続可能な社会・経済活動の取り組みとして、今後必須になると予想されます。

上川管内の議会においてもペーパーレス化を図るため、タブレットの導入が進みつつあります。本議会でも視察やデモンストレーションを実施し、導入に向けての研究を深めてきました。

このペーパーレス化は行政側でも資料の編集作業における省力化などのメリットがあることから、5年度の改選後から双方で協議を

進め、6年度の導入を目指します。

### (2) 傍聴環境の整備

#### ■意見交換会の開催

議会傍聴の改善を協議する中で、議会への興味・関心を町民から得ることを最優先とし、議会を知ってもらうことを目的に、意見交換会「議会と話そう」を開催しました。

意見交換会は5年1月19日と25日に開催し、町民延べ20人が参加され、活発な意見交換が行われました。内容は「びつぶ議会だより」臨時号(111号)で報告しています。

また、「議会と話そう」の継続開催を望む声が多かったため、次年度以降も内容等を検討しながら継続して開催する予定です。

#### ■インターネット公開

議会本会議のインターネット公開については、意見交換会参加者のアンケートでも公開を望む声が多かったことから、今後も議会への関心を広め、傍聴ができない方のために実施する方向で行政側とも協議していきます。

#### ■日曜・ナイター議会の開催

意見交換会やインターネット公開の状況を検証し、改めて研究することとします。

### (3) 議員定数と報酬

現在の議員定数9名は、2つの常任委員会を維持するためには必要な人数であり、減らすことは難しいとの見解から当面維持することとします。

なお、常任委員会制についての議論を尽くすことができなかったため、今後においても研究が必要です。

また、議員報酬の低さは議員のなり手不足の原因の一つとされています。全国町村議会議長会の提言などを参考にし、増額の根拠を示しながら、継続した協議を進めていく必要があります。

### (4) 議場への飲み物の持ち込み

会議中における議員、職員の体調管理を考慮し、ふたのできる容器での飲料の持ち込みを可能としました。

このことに伴い、4年第2回議会定例会で議会傍聴規則を一部改正し、傍聴者も議場で水分補給することができるようになりました。

### おわりに

本委員会の設置期限は4月30日ですが、継続課題が多いことから、改選後に改めて議会改革特別委員会を設置する方向で次期全議員に諮るよう、事務局へ指示しました。

# 6年生が議会に提案 子ども議会 比布町道の駅計画案

3月17日、中央学校6年生による「子ども議会」が開催されました。6年生は、町の食の美味しさや自然豊かなところを多くの人に知ってもらうにはどのようなようにしたら伝えられるかを考え、「道の駅」を建設するという提案をしてくれました。

「比布町道の駅計画（案）」と題したプレゼンでは、「建設部」「お土産部」「食品部」など7つのグ

ループに分かれて発表。ゆったりくつろげるスペースや町産食材を使ったカフェメニュー、効果的な広報活動など趣向を凝らしたメニューあふれるアイデアに感心するばかりでした。

子どもから大人まで楽しめる比布町の良さを生かしたまちづくりを進めていけるよう、議会としても頑張りたいと思います。

（大熊勝幸）



## 比布町道の駅計画（案）

### 1 建設部外装課

比布北インターチェンジ乗り降り口横に建設。木造1階建て、900㎡、145台駐車可能（普通・大型・身障車用含む）、施設内のマンホールのふたはポケフタに。アスレチック・足湯を併設。

### 2 建設部内装課

お土産コーナーやレストラン、テラス、キッズスペース、また、入口からトイレまでの導線を考え、施設を訪れる様々な人に配慮したレイアウトを提案しました。

### 3 お土産部

「長く楽しめるぴっぷ土産」をコンセプトに農産物のおいしさ、自然の良さを伝えたいと旭川の道の駅でお土産を調査し、ドライいちご、冷凍オクラコロッケなど日持ちする食品とオクラ型ボールペンなど文房具のお土産を提案しました。

### 4 食品部レストラン課

比布を知り尽くせる、食べ尽くせる道の駅「みち

らんち」。家族連れをターゲットに地元野菜を使ったジンギスカン野菜炒め定食やニジマス定食、また「ぴっぷみつ」を使ったパンケーキなど多くのメニューが提案されました。

### 5 食品部カフェ課

カフェ「田舎の森」。比布でしか食べられないメニューを紹介。ドライいちごを使ったガトーショコラ「幸せのひととき」、いちごやメロンをすしネタに見立てた「フルーツ軍艦」など。



### 6 イベント部

身近な人から、つながりのない人まで町に興味を持ってもらうことを目標に、自分たちが自信を持っておすすめできる場所をめぐるスタンプラリーや子ども・大人向け特産品クイズを提案しました。

### 7 広報部

比布町の良さを伝えるいちご型のパンフレットは道の駅をお知らせするだけでなく、町内のおすすめの店も紹介。また、町SNSのQRコードを掲載する工夫も。他にポケットティッシュ、カレンダー、ポスターの提案もありました。

# 議会のうごき

## 2月

- 9日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 20日 全員協議会 (役場、全議員)  
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)  
上川町村議会議長会定期総会 (旭川市、議長)
- 22日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
東川町長当選祝い (東川町、議長)
- 24日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 27日 大雪浄化組合議会定例会  
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会  
上川中部福祉事務組合定例会 (愛別町、組合議員)
- 28日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)

- 9日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、委員・議長)  
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 17日 子ども議会 (福祉会館、全議員)
- 22日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)
- 24日 社会福祉協議会評議員会 (福祉会館、議長)
- 30日 比布町農業協同組合通常総会 (福祉会館、議長)  
今津ひろふみ連合後援会総会 (美瑛町、議長)

## 4月

## 3月

- 2日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 6日 第1回議会定例会 ～9日 (役場、全議員)  
全員協議会 (役場、全議員)  
産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 令和5年度予算特別委員会 ～8日 (役場、委員・議長)

- 1日 北海道知事「鈴木直道旭川大集会」 (旭川市、議長)
- 4日 東川町議会正副議長来庁 (役場、正副議長)
- 6日 比布中央学校入学式 (学校、議長)
- 10日 北海道議会議員選挙当選祝い (美瑛町ほか、議長)
- 13日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 25日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

### お世話になります



書記 高田 愛莉

4月1日付けの人事異動で議会事務局に着任しました。よろしくお願いいたします。

### \*議会広報特別委員会\*

委員長 安藤 裕子  
副委員長 谷口 雅子  
委員 遠藤 雅子  
委員 今井 明子  
委員 大熊 勝幸

(谷口 雅子)

この編集後記が出るころには、新しい議員の顔ぶれになっていくんじゃないかな。議会の役割は、行政執行に際し、その目的、期待される効果、予算の使われ方などを議論することです。安心して生活できるように持続可能な住みやすい町にと考え、議論し、市民の皆様視点で行政と議会がそれぞれの役割を果たすことにより、比布町の将来への責任が果たせると思います。

議会広報委員は皆様のお役に立つ広報紙づくりを目指してまいります。そのためにもご意見などをお寄せください。今後も議会の様子が伝わる、わかりやすい紙面を心掛け、改善を積み重ねたいと思いますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。

## 編集後記

